○○五日同盟至急報】第○艦隊司令長官は五日正午軍艦○○にて左

A E E

司令長官宣言

近点よされとなり『支那年日つてゐるが、この眼子では起は祇勘の子で飲送に大第となは祇勘の子で飲送に大第とな

【東京正語】塩軍の威力に関

郷甚となつてある。その最もほし外国公便を職着しようと

よい「例として四日海軍省に シャム國バンコックの日本公

して、この様子マの出所を探むなものの、性害伝旋まる迹

説明するものと一笑に附して としてる。3、勿論海軍宏局と

ては支配側のデマは事度が

感よ出で、愈よ盛な

与情報性があり、海軍党局は始せり」などと職談されて心

一里の如く事然

支那側の大與太

わが海軍當局、ロあんぐり

平内地に進撃を開始した。

を促し速かに事態を安定せしめんとするのの中華民國領海線沿岸に関し支那県職の交通を監験

念恵に出でたるものにして第三國の平和部國の民間上半するの階層を取った至れり、右措政は専ら支那側の反省

配り開北菱服路の敵の抵損地一般は五日午前七時上り一時経り

はが1回の平和的通問を貸車 はなし

麥根路爆擊 海軍〇〇機

は五日午前十一時十一分龍山麓、た故縣望兵大佐丸山力男田の遺館をとけて名称の戦死をとげ

如き趣旨の宣言を發した

衛を行ふ(但し靑島を除く)又第三國の船舶及帝國の船舶は右區域民國沿岸において公私船を問はず中華民國の船舶に對して交通遙本日午後六時以降本職の指揮下にある海軍を以て海州以北の中華

更にその區域を擴め第三國の租界地及び青島を除きたる爾條護軍はさきに自衛の「甲酸として思潮がに事態を認定せしめんとするの容息に要きを測解戦

衠

この方針は行い

戦ふるのコート 東に 對し一大打撃を を 第5登に断乎こして積 東に 對し一大打撃を 東に 對し一大打撃を

從來の如き消極的

平和の禍 似を除き

是を實現せん

田外相の演

トる狀態の下においても密園政 附は商と用来る扱り事態の平和 的収拾や期上後口及び登山流域 在留邦人を全部引視行しめたの である、その疫膺を八月九日上 である、その疫痛を八月九日上

大山中尉 及近海縣

の戦

ひも解せず

真族院に於ける 近衛首相の演説

#### 荒井のお乳 電心局一〇〇四 電点船山七三一 一、昨日終日浦東の爆撃を敢行せ年前十時半銭安年前十時半銭安 歴土戦線を察成中正生国劉河鎮の我が第学院は一部を真て我が、昨日終日浦里の頻繁を取行せ 四機を撃隊

## 貴族院本會議 ける飛沢を説明して、同十一時七分滿場の相登壇、上海方面を中心とした中南支に於五十一分滿場拍手裡に降壇、續いて 米內海海方面の略圖を卓上に開い て傾聽する、同

「東京電話」近衛首相、廣田外相の演説により支那事變に對する脚乎たる決意を宣明する際はす、かくて松平議長に廖かれたモーを漂はす、かくて松平議長に廖かれたモーを深はす、かくて松平議長に廖かれたモーをが姿の近衛首相は面上に置いて別項の如見せて登壇、草稿を卓上に置いて別項の知るをでいる。 ば議場一齊に拍手を送る、

ば議場は軍富局より配布された北支及び上で議場は軍富局より配布された北支及び上海方面の戦況を説明すれた勅語奉答文棒呈のため退出、佐々木副和手を送る、この間松平議長は四日満場一致可決された勅語奉答文棒呈のため退出、佐々木副和手を送る、この間松平議長は四日満場一致可決された勅語奉答文棒呈のため退出、佐々木副和手を送る、この間松平議長は四日満場一致可決された。

一、陸海軍將兵に對す

思重外五名政議) 島津忠重公

[香烟]

鍋りまして浜○蟾医将士感激大な

ら今日この

めんごとを要求したに拘らず発々支那政府に對しその解復を取

農和、大谷祈担それか、確然に

近衞首相、農田外担、重場內担、有

(周上) (周上)

既き全域起立して南場一致可決、 委員に附近、これにて日母全部を 同五十五分散管

の二案を一緒上程、杉山峰相より

小山紫巌院派長は五日午前十 **風風の間に於て 天皇陛下に** 時四十分削後して宮中に参内 【東京小話】松平貴族院議長

宮中に本日午前十一時餐内。天安雄へ、この時宮中より退下し流

で杉山陸相、米内市相より機関

質量に於てそれ。 小説決せる 押講仰付けられ四日の 恵院本 刺語奉答文を捧出、これに して。陛下には重ねて優価が

を中に本当年的十一時参四 一致可決しました本帝文之を採出 致しましたところ軍和で修定を も動語を賜はりました の動語を賜はりました。

つ動語を賜り地震長は影響の

## 全將兵感激

第○艦隊報道班發表

して畏くる 鬼上雄下より支那 んとする目標はかくる波れる。このようで関係の幸福なしと信ぎるの。

つるる所の支馬政府及び軍隊で排外政策 や質行しつ

國家大

とするものではない、併しなが、とするものではない、併してがにまったりばか聞込して出供に収付されてまったりばか聞込していまったりばか聞込していまったりばか聞込していまったりばか聞込していまったりばか聞込していまったりばか聞込していまった。 よ重大なるを 痛べす と同時に 時局いよい 政府の意のあるところを終える。諸君におかれてもよろ を翼賛し 奉ること

敵陣地以突入

壮烈な最切を遂ぐ

我海軍機

相當 多 に**上りつゝ** 特ぎなつた 居留**民も** の已む なきに立**ち至** 

期が探がに反省せず地くまで執外はない、かくしてなほ文 意を喪失せしむる

は時に加くたが一選けた

|東南の敵観異||陸地中に関入。社然復よう後期を | 株言衆日終日 | 包まれ、そのミノ同州河北東の南 | の終日朝道郷| 内一郎|| 宏藤下県縣中東郊火城に

忠勇なるはは

対して共行共党の**収を** の一品が日瀬安にの に、大学・現場の一般では、大学・の一品が日瀬安に の一品が日瀬安に の一品が日本

忌務に 虚 らぬと思い

とある、然るに支 の政治を同 の政治を同 に昭利七年の位戦

該地に並大な投海一番は確立の推

重大なるの際を手

に、元、平省口的により新**平と** 向、東京以上は、万本水之に動 加って東軍・約、して我軍民に は空五邦鎮総・平輝せんとせず

、恐るに支那側、なことは今里

の語界発在 ‡5 €,

猛省を促 さいた

北支を一別ならしめ、戦の意間とする所は、関の意間とする所は、現るのでは、

推開排の

体上海に

要素利用し業を待んで、現代のでは、大力保安性の地域内に入力保安性の地域内に入力保安性の

い、 然に私は支票が設備が用 面の穴局 主流配し速かに反省し 工売速のにたに指述し来らんこ とを座んではそかい、決である とを座んではそかい、決である

戦し亦

日曜氣配 完世

同様の東洋の一部とよってある 関係を達性・実施を連び、一部を が開放して、一部で、 の他などのは、 のいたが、 のいなが、 のいたが、 のいたが、 のいたが、 のいなが、 のいが、 のいなが、 のいが、 のいなが、 のいなが、 のいなが、 のいが、 的男力也に支出地では動しては耳りたるので、此間 解 別数もに解門別れの安値へ路路 が一を演じたが支援の高値組むの建 の提付首ひも、一て高値へ急観 のではないでは、一大高値へ急観

- 九回八十七、八匹見留であつしま。 本書 本暦門を捌つて二七日 - 本書 本暦門を捌つて二七日 - 大阪衛 - 大戸東田 - 大阪衛 - 大阪総計・普及出の新徳家籍

光つ支明側を

北方に関する

や示し目支

統新 1317巻 日曜 2018の 中代であった

め建し川

る。 いは同じ遺憾に のは同じ遺憾に のは同じ遺憾に の相対性の勢力 により一瞬にし の相対性の勢力 ごを残して 引揚げる 年の 地盤及び憧茫な お五葉の我居留ける 約五葉の我居留中南支支び 山東にお 奏(さるを語ざるに立ち至り又) 天風豫報 公司

| 南西の風が記れる | 北西の風が記れる

## 國海軍長官

### 支那軍撤退 を要望

**隊には轉錨を働める** 

昨日の浦東の敵闘兵

仁川の謝時

干潮潮(4444)

は明日、明年大の第二十二十七八世紀、 は明日、明本たり第二十八世紀 は明日、明本たり第二十八世 京地選提(四日最高二十八世 京地選提(四日最高二十八世 京地選提(四日最高二十八世

「齊學」 商工館では二日午後七時

會照商工會

が同野事務所に常帰近曹を明隆

部會制度設置

地域三誌に分れ限測を異にするの

後に溢る」感激の献

が都盆を埋へての犯罪限制は

企業方面の常銀撒布も多いの

本年は近年稲な関作に出まれ 必要を痛悪し、管内各野祭習

と特別職成方の社意を示遣し

「団城」本春府曾議員久保田新三。遠した情報によれば平北一番には

水たので例年の犯罪統計に徴し際 Eにあたる九月十九日も近づいて

一一一般自然があでは西西盂関

神殿上にも大支郎と来すとて敗修

嶺美碧潼間

高島を窓

十六年は忽も活路を失び同画地方かり最高二十九日の拘留となった ので、それでは現實路中心の住民」と自版たので、時節概不阻遏とば 一府の馬約四千二百頭を除奪する

れて癪なので原質の申告をしまれて癪なのではるところ通りかゝつた若い男みるところ通りかゝつた若い男い、機線になつてフラーへして

豫定額の二倍を遙かに突破

盡きぬ道民の赤誠

對の陳情 道路改修反

離に駐在所後方を通ることとなる。同里を『日通子の幕前が「南那称所」

【年週】平南道では馬の大郎であ一決定した、ついで本年總督は時命を並内から発展すべく全、駅中止することに申合や開九時半の東は馬を進内から発展すべく全、駅中止することに申合や開九時半

具今館石里五十九番地町近を通い 行中二十五六歳位の任漢が飛び 用し私をひつばたいてその上五 皿保修しました

と申立てたので、それヲとばかり

慶北號の献納基金

平南を二區に分け

獸醫班が出動檢査

署へ四月年前三時頃五十歳位の静

、摩探等二十箇所の警報施第一組となつてゐるに新内面製なる質公署、銀行」と時を間じらして

腹癒せに虚

**軍都平壌の神縄だけあつて用。部からのベルが明れば発布一齊に** 

いざ空襲の場合は

とに決定した模様である。レ

# 関案ほ

# 残る問題は代償支排方法

情の部で数に弥迎一致し、花典。田春歌響等の附着健性を附さない。試も大響変引したので本具で何報が、この脚方質終了を告げ、財。は全部を機に顕著する場合は耐が、解決すべく能量変化がにおける機能終度変を中心に繊維を行つてあ。してあるやらである、基西能制で、あるから推発局でも可及的鍵がに使用の、され、経営局関がの部。主張するとに霊戦師の方針は決定。るは勿識十萬層決の観びところで「取って甘蔗年調料限の最大概略)。金は利益にならないので全等機を、決することが本材の方針に観謝す 「鰡」版章の西電極機問題の最一ついては西電側では現金と様を半」とこれを一蹴し馳までも全部を様 有利に起催した所容易としては現しいづれにしてもこの問題は急に解しなつた。 をに提供する祭司を有してゐるが「にせんと福祉な態度を見せてゐる。荀奕智潔問の交流社院、課題不能

高局の許賀家に感鬼一致し、電車一面登取器等の附僧傑作を削さない てあるが耐としては半分を取にし

### 少年窃盗團

を探究し、今後の腹壁野院課究に飛行局では日下、『董不振の殿因

上仁川驛の業績

服部警察部長

熙川を巡視

商議主催で懇談會

布里/方〈詳細面談園育時間自早率十時末一揆三年一郡一ケ所宛一手販賣所ヲ設與ス一郡一ケ所宛一手販賣所ヲ設與ス化學タイル 空 瓦一手販賣所募集

手販賣所募集

新時代の字理に基ける

京城化學タイル研究所

\$P\$\$P\$\$P\$ 知、肺粒核、助膜炎、性的減質、肺粒核、助膜炎、性的減質、肺粒核、助膜炎、性的減量、 食慾不健

し進増を懲食

特に 一般虚弱神身の渦

ケ月を除すのみであるところから 中保定部算数に達した際は一郡も ないといふ不成績で本気年度も二 人政の五別七分四回に「言言す各郡

2011年入百四十六度《本年度記》 日地が高くの民生産第三二百五十 **整位、四百五十一四五十百七十** 

[開城] 砂敷物は水赤線をもつ。て二十四米東するとを線決 愛國婦人 開慰勞

北支の貿易振興 釜山の業者を集め

州1 北北道内における七月末

の時局認識風化の方面について協

忠北の叺生産

紹門に南鮮松山の立場を明かにす

■ 2011 展示経験に対する時 ・ 2012 には、一十二十年後六時 ・ 2012 には、一十二十年を ・ 2012 には、一十十年を ・ 2012 には、一十十年を ・ 2012 には、一 2012

#### 四十男縊死

ヤックーッで一齊に通報

平壌局自慢の施設

「施行することになり桁景局でも目 数回の稼ぎしかなく悪観の果三日 てゐる長男、「この學者にも事缺さ (戦南浦へ來たが思はしく から三千圓を掘つて一仕事せんと **御宮前」 好八郎井里一九無腳渡** するらも大阪へ勉強に出し は三年前英海位信川

【武唐浦】非常時局と龍岡郡下の り金素と逢ふ酒を樂しむ仲となり葉方に飛ばれてゐるもも同家出入 是申夫に死別し開城府北本町崔

不埓な五十男

世間態を恥ち、別近の山中で聖見 なれず泣き叫い製品をその場に逃

今のところ先づ心配はない

日穀の原料玉蜀黍

更に大附録!

瓶 支那詳細大地圖

。大特價 六十錢

全同胞大感激の特輯發表

記上在開刊人學生の手記一等々百餘町子門慶振點計一大次戰地地移記一七字蘇城里學數天蘇城一應級比別應記一命が十歲散過

日支事變號

魯店へお申込み下さい猛烈な評判につき即刻

日東京發賣

全南醫官異動

懸金壹百圓也

至前 (西城)

**一番の がま (別別)** 自并非質次(部)

ては二日道問題が派名で各府形

宮内 第三(題水)

会派部衛生温動格を 中 黄金町一ノニー五 日 東金町一ノニー五 日 東金町一ノニー五 日

【祗興】愛國機成南親就金に隣し一本社正華支局後援の下に去る二十

斡旋を依頼

五日大邱藤餃赴住

(大邱製絲野粉) 上城

要して魅ったことをその脳で探知 | られてゐる 【永同】天川郷では去る二十八日 **大川郡面長會議** 

のようなは、もって、明確し制度というようなは、もっとの「制をは過ぎる」というというない。 午間九時から期間は流程で面長 合、咱山町料理組合等の館員を

頭のであいは?



店庭古友深麗 社會式機 



廣告代理業

「変を軟への衛生」 

下痢諸症 鼓腦 急慢性脳カタル 食餌中毒 薬物 レラ 脱チフス 受用 赤羽 コ 適應 掟

中毒

自家中酯

鄭侃低版

勝するか懸賞富籤者発

要 表 清 記

効速痢 下・防豫

事が出來ます ゼヒ 瓶を御備へ下さい

に用ひて偉効を奏ししますので軟急の際しますので軟急の際 も 微菌 恐ろしい病害を防ぐ

アドース錠は絶對無

傳染病や食あたりの AD 1282

ことがあります。子宮は一刻を爭はな

南大門通

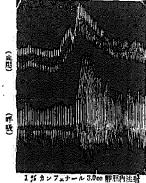


盛ならしめて低血壓の場合は血壓を上昇せしめ高血壓に對しては却つて血

③本樹は呼吸中枢を興奮せしむ 即ち呼吸困難呼吸促迫せるものに對し速か に呼吸敷を减少せしめ淺薄なる呼吸を増深せしむ 且つ本剤の呼吸興奮作 用は在來の呼吸興奮劑に比し優るとも劣ることなし

④本剤は体内吸收後有害なる副作用なく安全なることは既に確認されてゐる

大の呼吸及び血壓に對する作用



1 % カンフェナール 3.0cc 静脈内注射 (Pre. Kg. 0.5co)



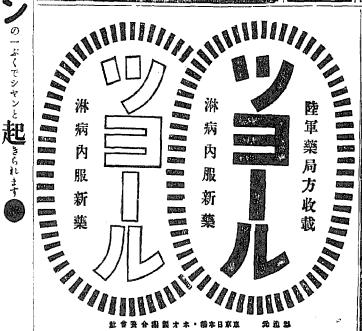
1.0cc(5偿入 10管入 50管入) 2.0cc(5管入 10管入 50管入)

支配及び最近の支銀**"治療及属方七月駅**" 別州御申越光第22是マー但し**警察に限る** 

叫做法人 理化學研究所

株式會並 藤澤友吉商店 代理店 東京日本経路本町 机合九林 田邊元三邱商店

RC13





[21]



殆んど全支に亘り

那船の交通遮断

兩艦隊司令長官の名で

輕行所 合致菌趾 启城日聯批 振光環 三 〇 | 近本局(2)||一八||香 人 小川三之介

汕頭南方の 属官を砲撃 敵に大損害を與る

・ 「野地東山田田」 我が 後世〇 「戦 上の戦略を開始し、関に中後一〇歩は終める戦を制理。」 「の歩きはなる戦を制理」 りまから共加し は戦略を開発し、関に中後一

指揮下に贈する兵力を以つて中華民國公私船の交通を無断することを宣言す 本宣書は昭和十二年八月二十五日本官のなしたる宣言に代るものとす 舶に對してのみ効力を有すべく第三國及び帝國政府の船舶は遮斷區域內に出 和十二年九月五日 大日本軍艦〇〇にて

度卅三分、東經百〇八度三分に到る第三國の租借地を除きたる繭餘の中華民

# 田司令長官宣言する地

第〇艦隊司令長官

谷

][]

清

來た後之を國民政府に押しつけん

とするものではないかと言はれる

を蘇不法拿捕

馬は蘇聯との側に発體の臍解が出

祥一郎の歌朝と**時**される前が等く

めつるありや古やは経版とるれ、

入するを妨げず

國沿岸に對し、本官の 本連画は中華中国形

支那の打撃は頗る甚大

上において取嗣べを受けてある上において取嗣べを受けてある中、政権は問知で

高限中の本府監視船朝風地から清 一日午使一時時記録に神合に放て

が不法にも職場官語に

言の配信あり、このHOBの部門

船ではこれを受けつけず単に連絡 移さず同船宛て経営したが既に同 は中観した、温度無距局では時代

を断った。 殴らく ポセット 方面に

# 精神的影響は更に深刻!

続語(AMM) 所謂の成乃下に配「停止により、存遂によ」増して支那側の受ける「れる、復争り)と、簡単名形をに手で、シクによる始操貿易の | のがあるが、それにも | るもっ 東静士的は蟹鬼乳をと手らしつクによる鉛機震場の「のかめるが、それにも「るものがあると腹組さ 趣能は下宮宮峡を肌肌が延興脈がはおは、鱗船及び敷質室のジャー的打撃は頗る甚大なも さらにより以上深刻な 半大連に入戦、同時上度五日間21五日の17日によっかれたわけで、 李那汽船の「る國内貿易その他經濟」精静的影響に至っては「の引引作飢餓儿徒」

| 正首、新闻記者など二百十七名頼 | に於て憲五統と敬乏歌級大使離別 | 証職の不供に甘を遂ふてつめり、題願事以下居留民、田中市県牧田 対方向智の機器によれば、下南民 さらに五日一郷の墓御事戦おり、皇所事以下の大師、同語には大層背島 だ分散測せられてゐた所であるが れてゐる、この郎、四日迦斯三段・中大連に入職、同語には大層背島 だ分散測せられてゐた所であるが れてゐる、この郎、四日迦斯三段

『五日午前十時』にある脳の治野が伝統することは

が揺脱されてあり耶趣を軍大視さ

れてゐる、なほ同般には世襲物性下十餘名の黎組織の華眉は聖道は

怪支那船から

時出帆同船で門司に

に向った

解へられる、右胎院は 配に到する指動が行はれてゐると

られてある

同方面は絵々容易なられ事態に直 昨今日支時局の進展界に刺戯され

順に赴いたが総頭御以下は午後一 馬が蘇聯と

我艇に突如射撃

及び江蘇省北端より廣東省西端に至る一帯で、北部は第〇艦隊(長宵吉田善吾中將)

、長官長谷川淸中將)の手で兩艦隊の指揮下の兵力を以つて 支那艦船の出入交通を一切遮斷せんとす

而して南支の態斷區域は宏る八月二十五日長谷川長官の宣言した區域より更に南方に

るものである、

頻脹されてゐる

質は前回のものと同機であるが、その區域は孌皇鸕附近より山東省南端に至る一帯(但し靑鸕を除く)

ことになり、五日正午爾艦隊司令長官の名を以つてその旨の藍天宣言を發表した、この交通趣斷の性 回更にその範圍を擴張し、第〇艦隊及び第〇艦隊の開兵力を以つて殆んど全支沿岸の交通遮断を行ふ

《上海五日同盟】 帝國政府はさきに揚子江河ロより汕頭に到る支那沿岸の交選遮断宣言を發したが、今

きのふ重大宣言を發表

應戦直ちに撃沈

し上海位置動師人同節は非常に図 「上海五日同間」単軍の活動に に掛び直を長曜軍省倫長用宛波金

殿し来つたので、同大時は郎下を「大路は京都作新舞館の田身である」と関格がため内児襲を強めたとこ。 長齢田養行で、は難部に冒責機関いたの兄児襲を強めたとこ。 長齢田養行で、は難部に冒責機関い、実験的こので質に停削を献、川本大路は召譲し、実験的ご覧水・

17の0五日同四 東域のO野組の 指席と思うに下間ですると共に担に本格大時は五日のつ方面にて数一端のつう方面によりには、またいで、はいった。

【上海五日同盟】第〇艦隊司令部發裝―第〇艦隊司令長官長谷川清中將は五日正午左の如く宣寓せり

東經百十九度五十五分より北緯二十一

大口喜六氏 (最高

長谷川司令長官も宣言

本官は昭和十二年九月五日午後六時以降北緯三十四度卅分、

感謝次議案を

總員起立し可決

非常時氣分横溢の

運

海州を爆撃す )機

総裁された瞭文不可侵候約の背後「の遊りを含むものであるが、果」「九日ローマに贈聞する朦胧」「上海五日問題」日文交戦の15中 - 本と崇和すべからず - コモ出越 ベルリンを勘

軍なる策動か 衝說

一、支那は自婦内における保護共産場局をに式に原認する。 一、旅游は支那中央軍の製造となって對日共同作職に出る。 一、支那は舷躺の間意なくして日 一、支那は舷躺の間意なくして日 本と器和すべからず

三首相は來る二十四日飛行機でロ 【ローマ四日製同盟】 ムッソリー

ム首相廿四日出發

- すを川殿 ベルリンを訪問、甘

| 「異国地語」 五月年後九時半龍里|| 脚連増の 軍事総議 たる衛州の軍 ついてもが同様の方針を進むつに大連五月間別 背島ようの配後 | 際の〇〇概は、四月午後八時配穫 | 興へたり | 「保が非常時間と対してその 広央をある。右は前後的とあってその 「大連五月間別 背島ようの配後 | 際の〇〇概は、四月午後八時配穫 | 興へたり | 「保が非常時間を与って始めてその 広央をある者もので、 大地五月間別 | ではなっている | 大地五月間の | 大地 日本 | 大地 日本

を受けてある。我国の教室観して有様、これに子職が大臣の散撃 として来たが、这任本権観察大臣に解が多行に、に解述する方所には傾りはない。 では、対し、解析は、これに子職が大臣の散撃 「東原子」できる原献を打削り、成析最高認識を できる関化を 特別な基準代 「十一分数官 「十一分数官 まで開化せ る質問を打引り、欧籽提供物質を増発する必要 る質問を打引り、欧籽提供物質で関すするには増 能に欧籽提出の各種供供家に割す

軍事費特別會

型機能が開発量はその性質上極め の配件限例に提出された配件用事 に東京作品)支が再整整支機のた 計豫算の内譯

飢餓なる内容であるが、最人用の

公路は左の辺りである(別位圏)

▲臨時班事世級人里瓦田縣也 原一實术實金 一、公儀及不過青

(國府軍事教養是經費要求書 第一枚國府軍事教 11、O1111、六七一、二五 〒 〇ヨマ 六七一、二五八借入金

六七一、一万人

第二項推進國際軍事以 三八二 三四九、九五八、三八一 三四九、九五八、三八一 三四九、九五八、三八一 第一項原用國語與事實

などを追加計止した。在は今 回支加和酸に従事したる相似に 海上租民の減分名の他資料など を行っため之に棚する法切累を 本社首に提出することにした。 以上の刻く今回の串級に加する

々説明をなし終って緊急動騒によ

て行ふこととし

貴族院(東京自由)陸海道将兵に對する政府院の

**内院の感謝決議**文

衆議院本會議(五日)

百野福相 国は経過につ

「新して遊んで行き」なりである。 おの考慮を思すると思ふが如何、近人情には、 「新して遊んで行き」なりである。 おの考慮を思すると思ふが如何、近人情には、 を傾列として声級を点膜する 「関一體となって言級を点膜する を傾列として音級を点膜する

陸海軍将兵に對する

大田 一直 では、 一直

なは一層國民一

支援を切望す

賀屋臓相の

**計画 相 解解犯** 

問れたり望ったり に自動 けふの天氣

異面にも重要記事

い、動もすれば のため急激な物 のため急激な物 低なくその

る治を一會計年度として整備する治を一會計年度として整備する治療となり時局終結に至その性質上一般資計と闘分して要消は多額によるのみならず、

右のうち臨時ル事費に服事行動は二千二百能英国、一般資計各位二千二百能英国、一般資計各位二十二百能英国、

地方公共園 闘の財政と 師のの祖世十三度九



# 邁進

## 海方面

共同動作のもとに掲子近下流気波附日末明海軍を控めて緊閉巡り日つ

支那 は編を兵力を治労し

少と収め、は、間で扱いを取得してある。 がするを取り、関すを存出して必か。 がするを取り、関すを存出しまで扱い。 がするを取り、関すを存出しまで扱い。 のが減少が、関する存出しまで扱い。 のが減少が、対するを取得している。

# 說明內容

で支馬正規軍の がされるによっ なるを決事的でするの で支馬正規係者と を裏し関係者と を裏し関係者と で支馬正規係者と で支馬正規係者と で支馬正規係者と で支馬正規係者と 日なきに至つ

ることは側に各位の飼食知の通 能行して多大の耐果を納めてる 連田 項給果取なる爆車を 再錄致しません

けの真和を調査 を放めな出安留 を放めな出安留 を放めな出安留 を放めなりを にの真正 にの真正 にのであり のにあり にのであり にのでも にのでも にのでも にのでも にのでも にのでも にのでも にのでも にのでも にのでを にのでも は事業に全つ 國

今日あるを要領し孤一に到する の範囲を見にければならぬ情勢 となった。である。 電母は海神 となったのである。 電母は海神 となったのである。 電母は海神 となったが非が海州東行路脈の一部に たが非が海州東行路脈の一部に たが非が海州東行路脈の一部に たが非が海州東行路脈の一部に たが非が海州東行路脈の一部に たが非が海州東行路脈の一部に たが北が海川東行路脈の一部に たが北が海川東行路脈の一部に たが北が海川東行路脈の一部に たが北が海川東行路脈の一部に たが北が海川東行路脈の一部に たが北が海川東行路脈の一部に たが北が海川東石を加大 を関である。 電母は を関する の変調を見ない。 となって、 である。 電母は の変調を見ない。 となって、 である。 電母は の変調を見ない。 となって、 である。 電母は の変調を見ない。 となって、 である。 である。 電母は の変調を となって、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 では、 ののである。 ののでのである。 ののである。 ののでのでのである。 ののでのである。 ののでのである。 ののである。 のので。 ののである。 ののでな。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 のので。 ののでな。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 ののでな。 のので。 のの 雅としては、学て 

海特別性職院は毎兵よ

レ八月十一日

省を促ささるを得ざるに至ってある

今次。東語の機に調する

りである、この間毒上部陸は一 都を対すがは、表情に水域の交通を機体とつくその影響を対す機体とつくその影響を が健難解を対すを開催に添力し、 であったが他は無力に強力を し、又飛行版を対すとのであって、その形 第七十五名のであって、その形 第七十五名のであって、その形 第七十五名のであって、その形 第七十五名の変更のであって、その形 第七十五名の変更のであって、その形 第七十五名の変更の変更をという。

更上 一宮したいより二 とほ湖東州の通り今回ら作時 池 は現が居前民の多数存在して るるので、 之を安全に保護社 の心要があり、安別の保護社 の心要があり、安別の保護社 の心理があり、安別の保護社 であれたる各国推験にどもを数存在してるるのでのとの走道セ されたる各国推験にどもを数存在してるるのでののでの。これがため都作版上の見地のかにである。これがため都作版上の見地のはどもを数存在してるなので使ので加速を重くである。

本・ひ に今日までに寿程順大なる問題を退して居らぬが、大なる問題を退して居らぬが、大なる世界で使が名は強力な過程であるが、大なる世界であるが、大なる世界であるが、大なる世界であるが、大なる世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界であるが、大きな世界である。 された実頭であるが